

修道中学校・修道高等学校 インターアクトクラブ

2020年度（2020年6月～2021年5月）活動報告書

顧問教師	2020年 筆頭参与 谷本理紗 参与 栗本 潤 2021年 筆頭参与 谷本理紗 参与 栗本 潤
構成員	2020年・2021年 会長(班長) 遊佐 悠治(高2) 計 19名 (高2生・高1生・中3生・中2生・中1生)

1, 昨年度の活動内容

想像もしなかった1年となっけししまい、多くの活動を制限されました。これまで当たり前のようになできていた普段の班活動が、大変貴重な経験であったことに気づかされました。そのような状況のなかでも、継続してきた河原清掃や古靴の回収・清掃、文化祭チャリティーバザーによる募金活動などを行うことで、今後も少しでも社会に貢献出来ればと思います。特に、日赤病院での車椅子清掃には、春にようやく何うことができ、大変な医療の現場の皆様に改めて感謝する機会となりました。

2, 成果と今後の課題

引退した尊敬する多くの先輩方の意思を引き継ぎ、今年度は経験豊富な高校2年生が主体となっけ、日々の活動に取り組みました。しかし、この未曾有の危機に立ち向かう中、これまでとは違う形で活動をしていかなければなりません。外部の活動は大きく制限されているので、校内やオンラインを用いた様々な活動に挑戦する1年としたいと思います。また、課題として、少ない後輩たちをしっかりとサポートしてから引き継がなければなりません。この一年、熱意と責任感をもって取り組みたいです

3, 活動の具体的な内容・感想

【古靴洗い（5月）】

毎年5月に行っている活動で、学校にあった忘れ物の靴をしっかりと洗い、十分乾かした後アフリカの子供達へ届けます。靴の中には僕たちが欲しくなっけしまうほど珍しいものやかっこいいものもあります。アフリカの子供たちに気持ち良く履いてもらいたいという気持ちを持って活動しています。昨年と今年には靴を届けることが出来ず、悲しいです。コロナウイルスが収束した頃を夢見て一足一足磨いていきたいと思います。



【文化祭（10月）】

今年のバザー・募金は、文化祭が短縮されたこともあって思うように集まりませんでした。寄付は毎年行っている日赤病院に送りました。日赤病院に寄付したお金は被爆者医療に使われています。感謝状も頂きました。また、今年は募金に参加出来なかった「あしなが育英会」さんにも寄付をおこないました。



【河原清掃・日赤車椅子清掃】

毎月行っているインターアクト班の中心活動で、河原のごみを拾ったり、車椅子をきれいにします。毎月あり、どうしても機械的に行ってしまうがちですが、一回一回を大切に行っています。周りの方から声をかけていただくことがあり、とてもうれしいです。今年はこの活動が中心となりました。



その他にも、本年度は武田高校様主催のオンライン異文化交流会への参加や、医療従事者の皆様へ応援メッセージとDVD（本校スクールバンド班より）をお届けするといった活動もおこないました。

4. 新たに挑戦したいこと・挑戦を始めたこと

新型コロナウイルスのため昨年度は思うように活動が出来ませんでした。よって今年は「今、何が出来るのか」を班員で話し合いました。

●献血の呼びかけ（校内）

数年前先輩方が本通りで献血の呼びかけをなさっていたのを思い出し、校内ならば僕たちにもできるのではないかと思います。今はポスターを作成している段階ですが、呼びかけをするなら自分達も経験しておいた方がよいという意見があり、感染拡大が収まったら献血へいこうと考えています。

●ペットボトルキャップ回収（校内）

修道生は1日にたくさんのジュースを飲んでおり、ゴミ箱も毎日あふれかえっています。以前からペットボトルキャップを集めるとワクチンになるということは知っていたので、これなら多くの人の役に立つかもしれないと思いました。もうすでに回収ボックスの製作も完了し、宣伝ポスターも作ったので後は各学年フロアに設置するだけです。

